

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 1 部門第 2 区分
【発行日】令和 7 年 6 月 4 日(2025.6.4)

【公開番号】特開 2024-10764(P2024-10764A)
【公開日】令和 6 年 1 月 25 日(2024.1.25)
【年通号数】公開公報(特許)2024-015
【出願番号】特願 2022-112241(P2022-112241)
【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02(2006.01)

10

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 6 Z

A 6 3 F 7/02 3 0 4 D

【手続補正書】

【提出日】令和 7 年 5 月 27 日(2025.5.27)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 1

【補正方法】変更

20

【補正の内容】

【請求項 1】

所定部位に設けられた遊技部品を備え、

前記遊技部品は、遊技部品本体に設けられた電気部品と、前記電気部品を該遊技部品の外部の外部基板に接続するためのハーネスとを備えた

遊技機において、

前記電気部品は、遊技に係る遊技用電気部品と、演出に係る演出用基板とを有し

—
前記外部基板は、遊技に係る第 1 外部基板と、演出に係る第 2 外部基板とを有し

30

—
前記ハーネスは、前記遊技用電気部品と前記第 1 外部基板とを直接的又は間接的に接続するための第 1 ハーネスと、前記演出用基板と前記第 2 外部基板とを直接的又は間接的に接続するための第 2 ハーネスとを有し、

前記遊技部品本体は、留め部を備え、

前記第 1 ハーネスは前記第 1 外部基板に直接接続可能なハーネス側コネクタを、前記第 2

ハーネスは前記第 2 外部基板に直接接続可能なハーネス側コネクタを夫々備え、

前記第 1 ハーネスの前記ハーネス側コネクタよりも前記遊技用電気部品に近い部分と、前記第 2 ハーネスの前記ハーネス側コネクタよりも前記演出用基板に近い部分とを前記留め部の所定位置に一纏めに留める留め具を備え、

前記留め部に装着した前記留め具を前記所定位置に保持するためのずれ止め部を設けた

40

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 2】

パチンコ機等の遊技機では、遊技盤の遊技領域の略中央に遊技情報表示手段が配置されると共に、その遊技情報表示手段の周辺部分に普通入賞手段、始動口手段、大入賞手段等の遊技部品が配置されている。遊技情報表示手段には液晶表示手段が使用され、また普通

50

入賞手段、始動口手段、大入賞手段等には、入賞スイッチ、駆動ソレノイド、ＬＥＤが使用される等、多数の電気部品が使用されている。

これらの電気部品には各電気部品毎にコネクタを介してハーネスが接続され、その各ハーネスが各種基板へと夫々接続されている。

【手続補正３】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００４

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００４】

10

本発明は、電気部品と基板とを接続するハーネスを好適に配設することを目的とする。

【手続補正４】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００５

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００５】

本発明は、所定部位に設けられた遊技部品を備え、前記遊技部品は、遊技部品本体に設けられた電気部品と、前記電気部品を該遊技部品の外部の外部基板に接続するためのハーネスとを備えた遊技機において、前記電気部品は、遊技に係る遊技用電気部品と、演出に係る演出用基板とを有し、前記外部基板は、遊技に係る第１外部基板と、演出に係る第２外部基板とを有し、前記ハーネスは、前記遊技用電気部品と前記第１外部基板とを直接的又は間接的に接続するための第１ハーネスと、前記演出用基板と前記第２外部基板とを直接的又は間接的に接続するための第２ハーネスとを有し、前記遊技部品本体は、留め部を備え、前記第１ハーネスは前記第１外部基板に直接接続可能なハーネス側コネクタを、前記第２ハーネスは前記第２外部基板に直接接続可能なハーネス側コネクタを夫々備え、前記第１ハーネスの前記ハーネス側コネクタよりも前記遊技用電気部品に近い部分と、前記第２ハーネスの前記ハーネス側コネクタよりも前記演出用基板に近い部分とを前記留め部の所定位置に一纏めに留める留め具を備え、前記留め部に装着した前記留め具を前記所定位置に保持するためのずれ止め部を設けたものである。

20

30

【手続補正５】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００６

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００６】

本発明によれば、電気部品と基板とを接続するハーネスを好適に配設することが可能である。

40

50